

2015 年 11 月 10 日の経営会議の概要

日時	：2015年11月10日（火）	午前11時00分～午前12時00分
会場	：政策会議室	
委員・幹事	：市長、高橋副市長、山田副市長、政策経営部長、経営改革室長、総務部長、財務部長、広報担当部長、企画政策課長、企画政策課未来づくりプロジェクト担当課長、企画政策課政策研究担当課長、秘書課長、広報課長、総務課長、法制課長、職員課長、財政課長	
説明	：議題1 政策経営部長、企画政策課政策研究担当課長、財務部長、営繕担当部長、営繕課長、営繕課担当課長	

議題1：町田市公共施設等総合管理計画の策定について（政策経営部・財務部）

【付議の目的】

市民意見募集をするにあたり、町田市公共施設等総合管理計画の素案について承認を受ける。

【提案の概要】

町田市では、高齢者の増加による社会保障費の増大、今後の生産年齢人口の減少による税収減などから、財源不足が一層深刻化していくことが予測されている。財政状況が厳しさを増す中、今後、公共施設が大量に更新時期を迎え、莫大な維持更新費用が必要になっていく。

そのような状況を受け、必要な公共サービスの維持または向上をさせていく必要があることから、公共施設等の総合的かつ計画的な管理を行うための方針として町田市公共施設等総合管理計画を策定する。

計画においては、公共施設だけでなく都市インフラ施設も対象とした総合的な管理の方針を立てる。また、公共施設の床面積や費用を単純に削減するだけではなく、既存資源の有効活用や官民連携により、財源の確保や公共サービスの質の向上を目指す。

町田市公共施設等総合管理計画における公共施設の基本方針としては、目指すべき姿を「経営的視点に立った施設の管理と運営」及び「建物重視から機能重視への転換による新たな価値の創出」とした上で、「施設総量の圧縮」「ライフサイクルコスト（LCC）の縮減」「官民連携によるサービスの向上」「既存資源の有効活用」の4つとする。また、都市インフラ施設の基本方針としては、「安心・安全の確保を最優先とした維持管理」及び「維持管理の徹底した効率化と財政負担の平準化」を掲げ、公共施設等の総合的かつ計画的な管理を行うための基本的な方針を取りまとめた。

【主な意見】

○公共施設等総合管理計画の実行計画において、学校施設における施設の老朽化や児童数を見通した上で、学校施設の再編等も含めた取組を示すこと。

○維持管理費用を把握するため、年次ストック情報を示すこと。

○指摘された文言の整理をすること。

【審議結果】

提案内容を承認する。上記意見を留意した上で進めていくこと。